

■アジア：アジア太平洋地域、再エネの投資額 1,060 億ドル

2015年6月15～19日、アジア開発銀行（ADB）本部（マニラ）にてアジア・クリーン・エネルギー・フォーラム 2015 が開催された。席上、2013年のアジア太平洋地域における再エネ分野への投資額は1,060億ドルで、そのうちADBの資金提供額は24億ドルであると発表した（2005年時点では約2.8億ドル）。また、同地域における非電化地域の人口は6億人とされ、電源を確保するため石炭火力発電が必要であるものの、環境負荷の低い高効率の技術を利用するべきであるとしている。同フォーラムはアジア太平洋地域における再生可能エネルギーに関する情報交換などを目的としており、2006年から毎年開催され、今年で10回目となる。